

Economic

介護・福祉のM&A仲介

業界に特化、スムーズに

訪問介護など展開のミライフル(八戸)



介護・福祉事業に特化したM&A仲介事業を新たに始めたミライフルの張間翔社長(右)＝7日、八戸市

訪問介護サービスなどを展開する八戸市の「ミライフル」(張間翔社長)が、介護と福祉分野に特化した合併・買収(M&A)の仲介事業に乗り出した。業界の事情を熟知した強みを生かした新ビジネス。従来の仲介事業者では、知識不足から手続きがスムーズに進まないケースがあったといい、張間社長は「ノウハウを生かし、後継者不足で困っている人の支援ができたら」と意気込みを語る。

張間社長によると、少子高齢化の影響で、介護や福祉業界でも後継者不足が深刻化。事業拡大を目指す企業や法人がある一方、先行きが見通せず廃業する事業者もいるのが現状で、「うまくマッチングができれば」と10月に仲介事業をスタートさせた。

売り手と買い手双方からの相談を基に、両者をマッチング。トップ同士による面談などの場を設けて合意につなげる。現在、進行中の案件が2件あるという。

張間社長は「買い手側は事業が大きくなって経営が改善し、売り手側の不安も解消できる」とM&Aを選択する意義を強調する。

相談は無料。問い合わせは、「ミライフル」内のミライフルM&AⅡ電話0178(20)8635へ。

(里村静)

八戸沖貨物船座礁で休漁の2漁協

討

12月に解禁となるホッキガイ漁について、八戸沖での貨物船座礁事故の影響で昨季休漁を余儀なくされた八戸みなど、市川の2漁協が、今季の漁再開を検討している。事故処理を巡っては、現場に残存する機関室のつり

人材確保、拠点化へ協力

寅福(北海道)、県、市が立地協定

むつに計画 大規模トマト工場

スマート農業を活用した大規模植物工場をむつ市に建設予定の農業法人「寅福」(北海道)は7日、青森県、同市と立地協定を結んだ。3者は人材確保や同市の野菜生産拠点化に向けた取り組みで協力する。



立地協定調印式

立地協定を結んだ加藤夢人代表取締役(右から2人目)と宮下宗一郎市長(右)ら

7日、むつ市

寅福は、北海道上ノ国町にある情報通信技術(ICT)を活用した植物工場をトマトやアスパラガスを生産し、大手メーカーやスーパーに販売している。

市は、5月末に閉鎖したアツギ東北むつ事業所での約500人の従業員解雇を受け、誘致を進めた。

新たな工場は、下北半島縦貫道路むつ東通インターチェンジ(IC)近くの同市田名部斗南岡に整備。着工は2023年4月、操業開始は24年4月の予定。工場では年間1500トのトマトを生産する計画。苗の手入れや収穫を行う正

社員やパート00人の地元でいる。7日はプラで調印式が行

原料

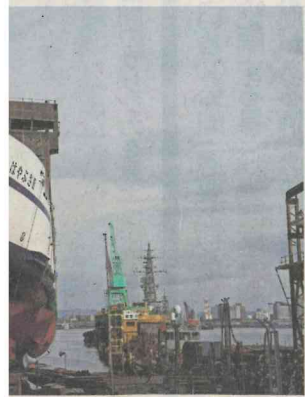
2022年を公表したト体の4割強は

主な業種の売上高、純損益の推移

売上高	増加率
全体	18.2%
製造業	15.5%
非製造業	24.9%

一新船進水

Ⅱ」来春引き渡し



「はやぶさⅡ」＝7日、

あげながら漆た。新しい船はと命名され、3千ト。30台以上の一度に運べ